

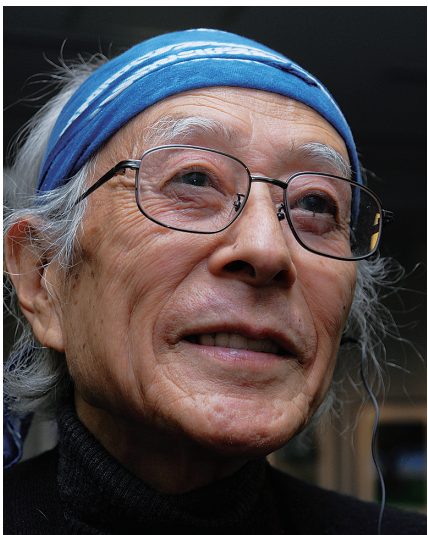
# 「文化は心、文明はもの」

○…「破いた線が、何かえ、ちぎった画用紙に筆であつたかくていい」。真つ白少し模様を入れると、あつたの画用紙をおもむろに手という間にダルメシアンのかれた色彩と構図。その原ちぎり、台紙に糊で張る。顔ができあがつた。「五感が点は少年時代にさかのぼる。用意していた色紙片を添 大切」。はり絵を続けて半

世紀余り、原画は6000点にのぼる。徹底して考え抜かれた色彩と構図。その原点は少年時代にさかのぼる。○…父は軍人、母は女子

## 人物風土記

題字は  
林文字 横浜市長



●相鉄ギャラリーで個展を開催している  
はり絵画家

### 内田 正泰さん

さが丘在住 90歳

美の一期生。このほりをのの、大学時代の恩師に教制作する父の筆さばき、上わった色彩構成がきっかけ。品で淡い色遣いに、ただ見本業の傍ら、はり絵の世界とれていた情景が浮かぶ。このめり込んで55年近く経小学6年のときには、図画つ。使命感を持ち、夢中でが苦手だった担任教諭に代創作を続けて気づいたテいわって、級友50人に水彩画マが「文化は心、文明はもなどを教えていたという。の。「文明には単位がある横浜国大の建築学科に進が、文化には単位がない。み、フランス建築を学んだ何百枚もの絵じゃないと伝後、海軍航空隊へ。上官にわらない。創作活動に専「向いてない」と辞めさせら念する今、そう断言する。れ、間もなく終戦を迎えた。○…妻と長男の家族の6何もなかった20代前半。「生人暮らし。旭区居住歴は約きる、死ぬことについて真半世紀になる。全国で作品面目に考えるようになった」展を開くほか、作品の一つ○…30代でカネボウ食品が、震災の復興支援を目指(旧ワタナベ製菓)勤務をして岩手県山田町で8月、創刊した情報誌の表紙にな経て独立し、グラフィックつた。自然は嘘をつくらず、デザイン事務所を設立。20た。自然は嘘をつくらず、数年前には、全国で知られる永谷園「あさげ」「ゆうげ」人間は虚偽をつくるから、のパッケージの絵と文字をが信条だ。「日本のうんと手がけた。自然を題材に色美しいところを褒めて、褒彩を突き詰めようと決めため続けて死のうと思つてる」